

# 放射第 35・36 号線 歩道の整備等に関する検討会

## 【第 1 回 Bブロック検討会】

### <プログラム>

日時 : 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 午後 7 時~8 時 30 分

場所 : 練馬区立開進第四小学校 南校舎 2 階 図書室

内 容
1. 開会の挨拶
2. 参加者の自己紹介
3. ブロック検討会
(1) 放射第 35・36 号線の事業概要
(2) 歩道等(環境施設帯)の整備等に関する検討会について
(3) Cブロックの概況について
(4) 環境施設帯について
(5) 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介
(6) 環境施設帯のタイプについての検討作業・意見交換
(7) 第 1 回アンケートについて
(8) 今後のスケジュール
4. 閉会挨拶

#### ◆本検討会の目的

本検討会は、関係機関協議や歩道等の整備に向け、歩道等（環境施設帯）の構成や具体的なつくり方について、地元の方々と意見交換し、歩道等の整備計画案をとりまとめることを目的とします。

#### 【問い合わせ先】

東京都 第四建設事務所 工事第一課 (電話) 03-5978-1730



## 放35・36 歩道の整備等に関する検討会

### 第1回 Bブロック検討会

平成29年7月27日(木)

東京都第四建設事務所



### 歩道の整備等に関する検討会の目的

本検討会は、関係機関協議や歩道等の整備に向け、歩道等(環境施設帯)の構成や具体的なつくり方について、地元の方々と意見交換し、歩道等の整備計画案をとりまとめることを目的とします。



## 本日のブロック検討会の説明内容

1. 放射第35・36号線の事業概要
2. 歩道等(環境施設帯)の整備等に関する検討会について
3. Bブロックの概況について
4. 環境施設帯について
5. 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介
6. 環境施設帯タイプについての検討作業・意見交換
7. 第1回アンケートについて
8. 今後のスケジュール

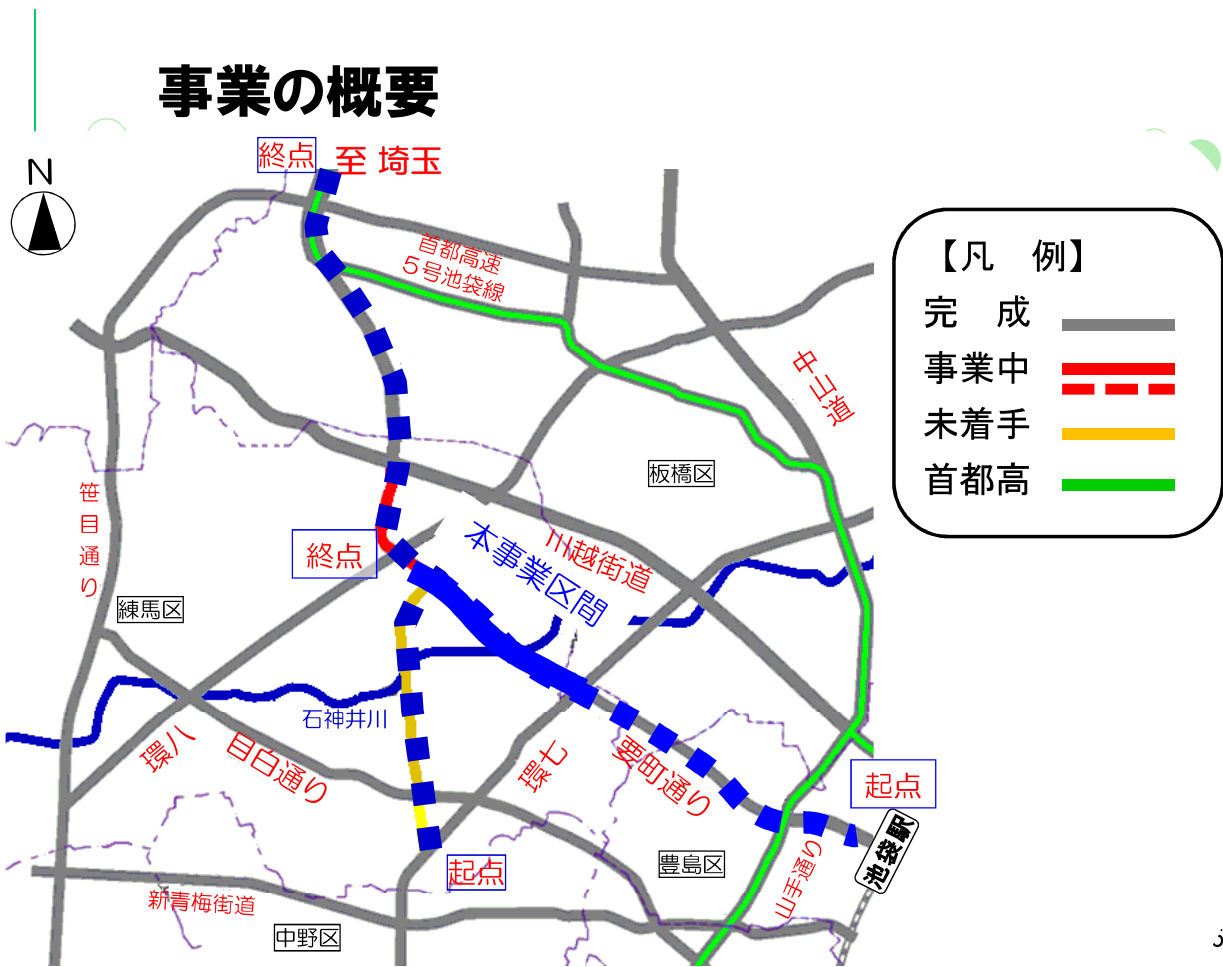
3



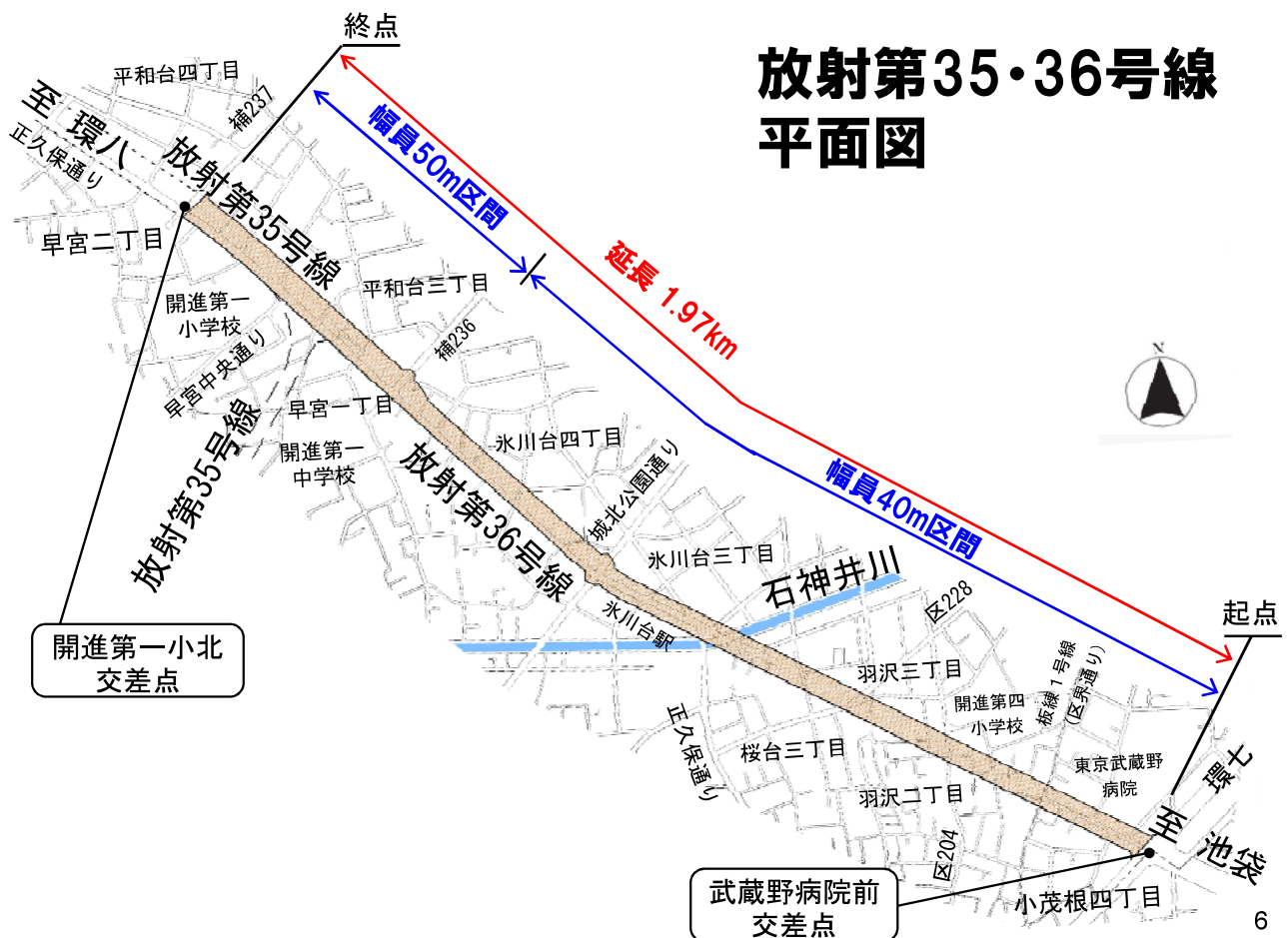
## 1.放射第35・36号線の事業概要

4

# 事業の概要



## 放射第35・36号線 平面図

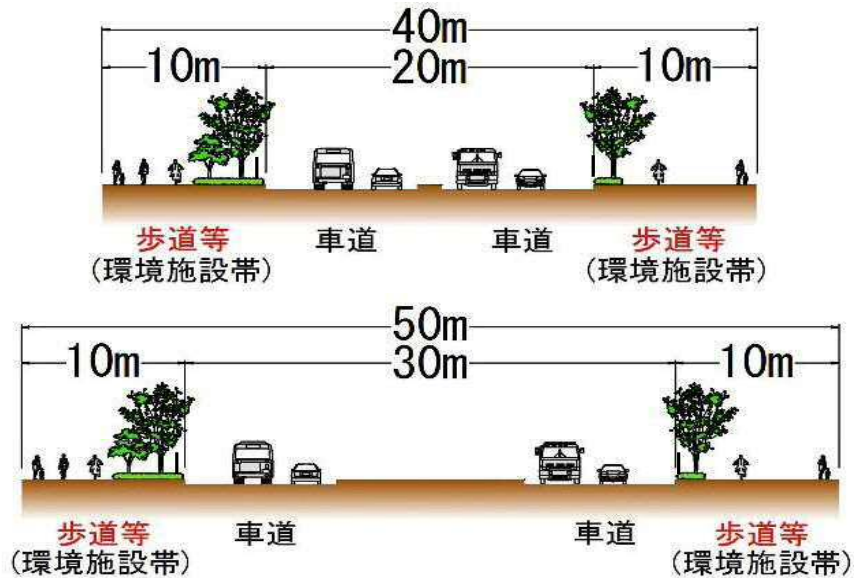


## 事業の概要

計画道路幅員は、40m～50mです。

車道は、片側2車線の幅員20m～30mです。

車道の両側に、幅員10mの歩道等を計画しています。



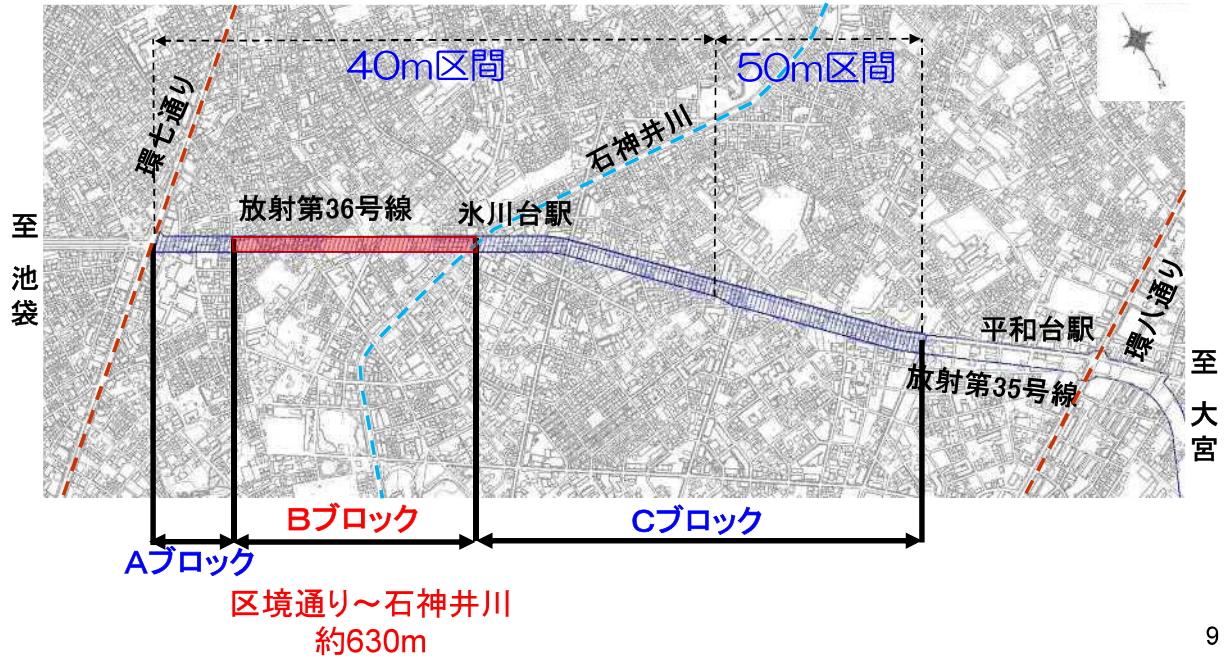
7

## 2.歩道等(環境施設帯)の整備等に関する検討会について

8

## ブロック分けについて

対象区間を沿道の土地利用状況、計画道路の構造、町会等の区分などを考慮し、3つのブロックに分割し、ブロックごとに検討会を行います。



9

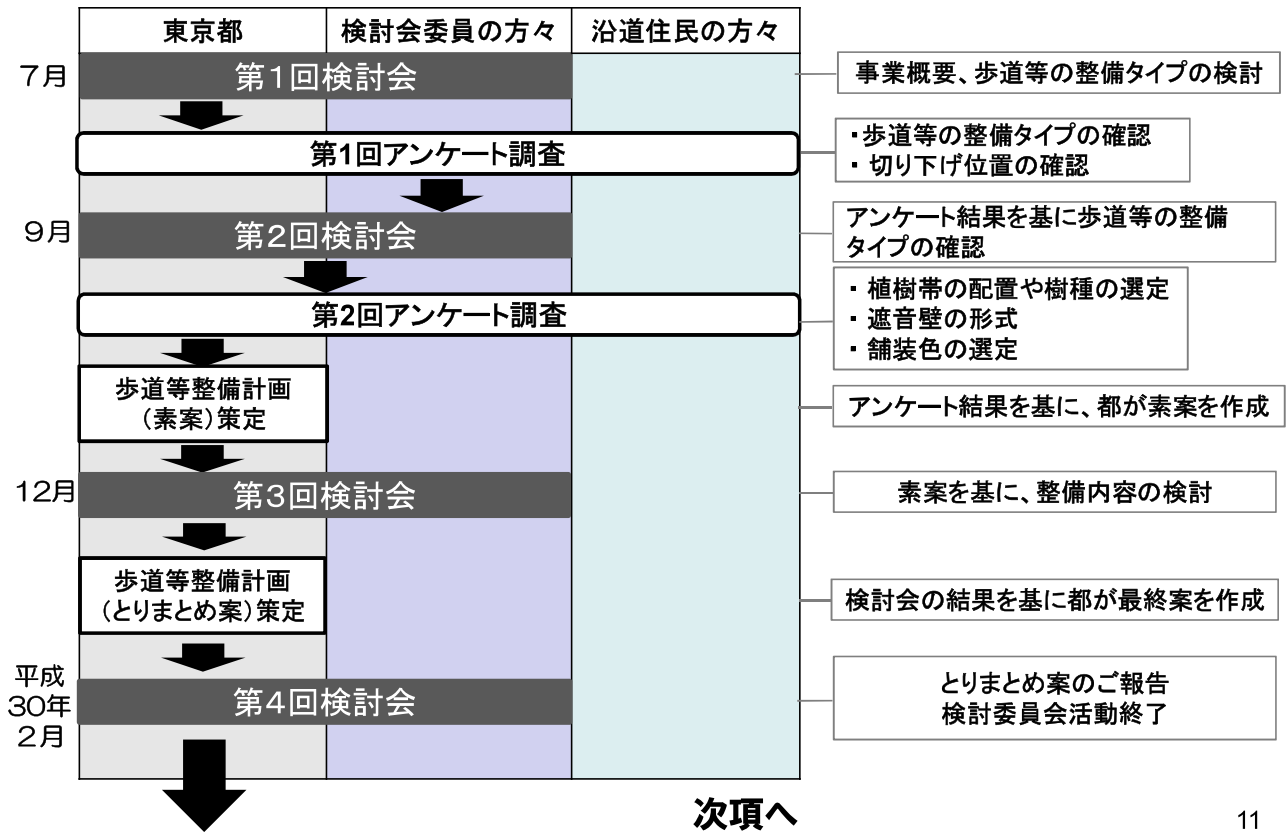
## ブロック検討会の検討内容

**ブロック検討会は、4回開催いたします。**

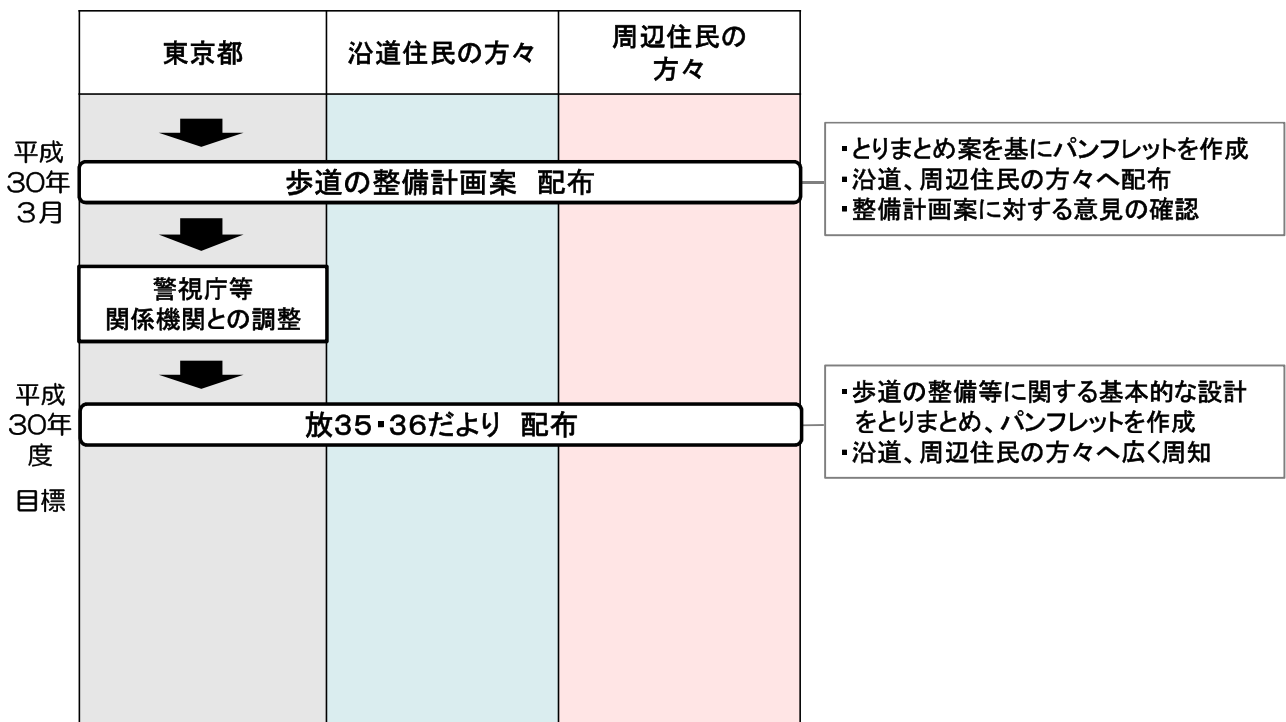
- 第1回 歩道等(環境施設帯)の整備タイプの検討・意見交換  
その他の要望等について
- 第2回 歩道整備内容の検討・意見交換  
(整備形態、街路樹等の選定)
- 第3回 平面図の提示・歩道整備内容の検討
- 第4回 最終案の確認およびまとめ

10

# 検討の流れとスケジュール案(1)



# 検討の流れとスケジュール案(2)



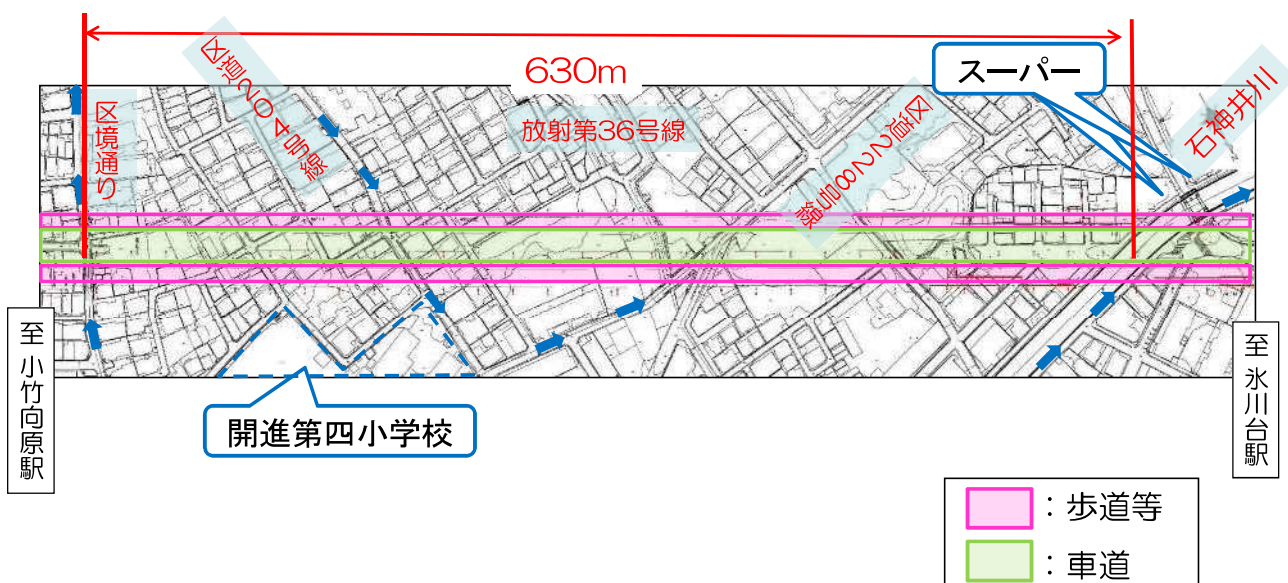
# 3.Bブロックの概況について

13

## 計画路線の概要

■ 計画道路幅員40m

車道の幅員20m、歩道等の幅員10m(片側)



14



## 概況のまとめ

- 1) Bブロックの延長は、約630mです。
- 2) 計画道路幅員は、40mです。
- 3) 車道の幅員20m、歩道等の幅員10mです。
- 4) 区境通り、区道204号線は一方通行道路です。
- 5) 地形に高低差があり、西側が高く、東側が低いです。
- 6) 開進第四小学校の付近を通過します。
- 7) 石神井川は、橋梁構造で通過します。

15

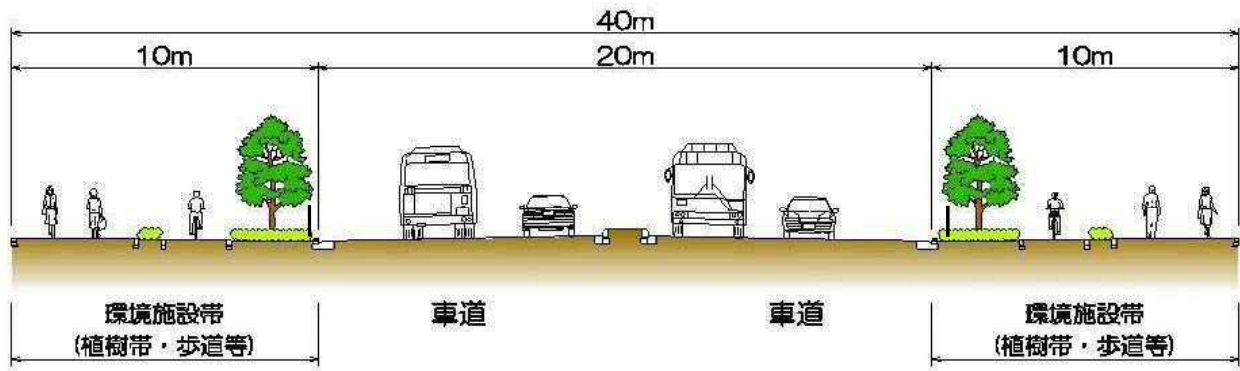
## 4.環境施設帯について

16

## 4. 環境施設帯について

### 4.1 環境施設帯とは

■ 環境施設帯とは、沿道の生活環境を保全するために設けられる、通常の歩道よりも広い歩道（片側10m）です。



■ 環境施設帯は歩道・自転車道・植樹帯等で構成されます。

17

## 4. 環境施設帯について

### 4.2 環境施設帯の役割と効果

環境施設帯には4つの役割と効果があります。

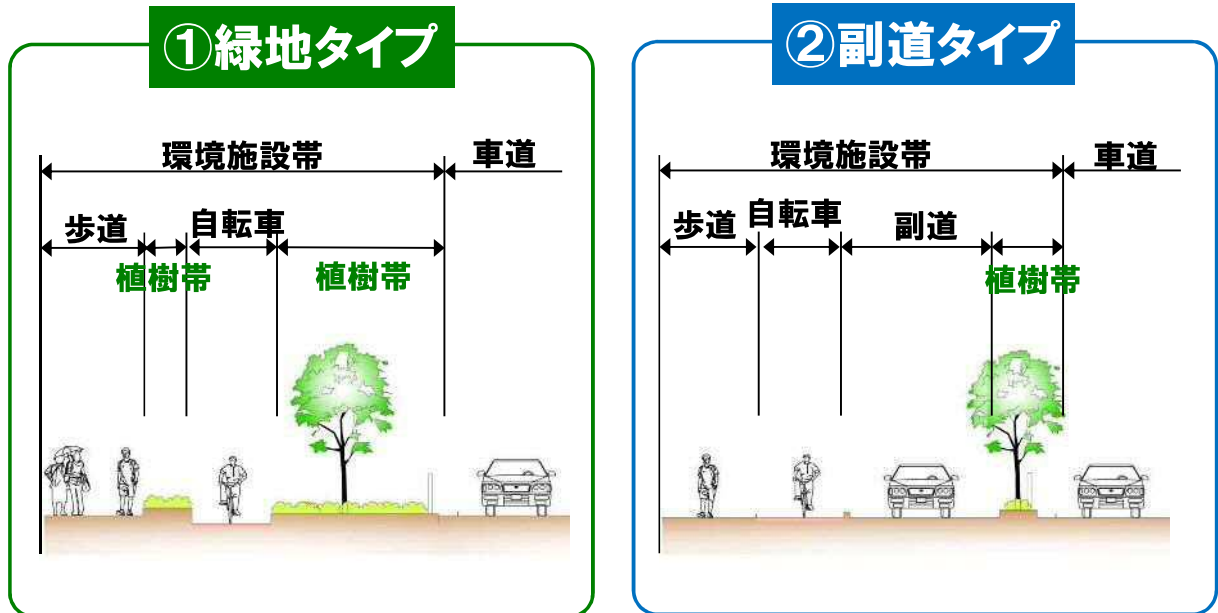
- 豊かなみどりによる道路景観の向上
- ゆとりある空間によるコミュニティの場の創出
- 自動車による騒音や排気ガスなどの影響の緩和
- 災害時における重要な防災空間の確保

18

## 4. 環境施設帯について

### 4.3 環境施設帯のタイプ

環境施設帯は、大きく2つのタイプに分類されます。



19

## 4. 環境施設帯タイプの紹介

### 4.3 緑地タイプと副道タイプのイメージ比較

緑地タイプ



副道タイプ

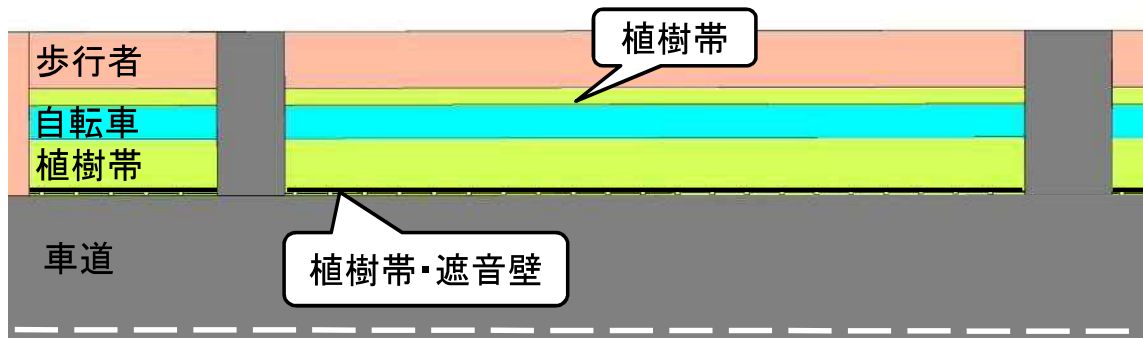


20

## 4. 環境施設帯タイプの紹介

### 4.4 緑地タイプの概要

■緑地タイプは、植樹帯の幅員を大きく確保することができる



#### ■メリット

乗り入れの少ない区間では、植樹帯・遮音壁の連続性が保たれる  
植樹帯による歩行者と自転車の分離が可能

#### ■デメリット

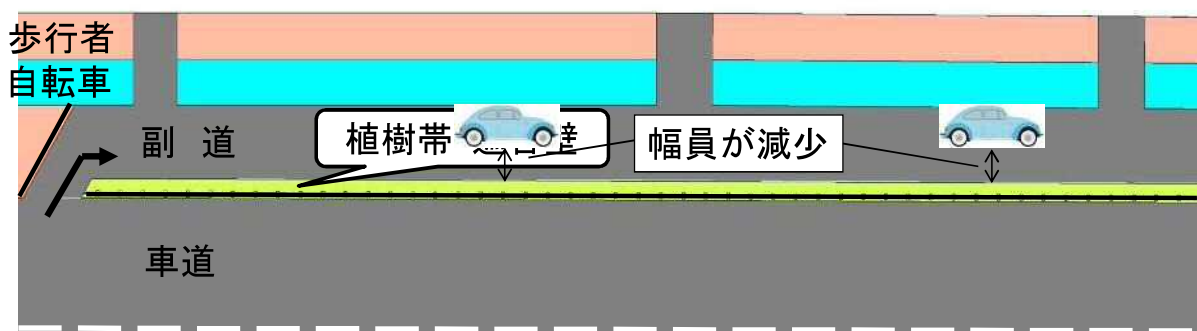
乗り入れの多い区間では、連続的に遮音壁が設置できない

21

## 4. 環境施設帯タイプの紹介

### 4.5 副道タイプの概要

■副道とは、車両の乗り入れ箇所を集約し、車道と並行して設けられる道路である。



#### ■メリット

遮音壁の連続性が保たれる  
乗り入れ箇所が多い区間における車道への交通の円滑化

#### ■デメリット

緑地空間の減少、違法駐車増加の懸念

22

## 5. 歩道等(環境施設帯) 整備の事例紹介

23

### 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

#### ■環境施設帯のタイプ

緑地タイプ

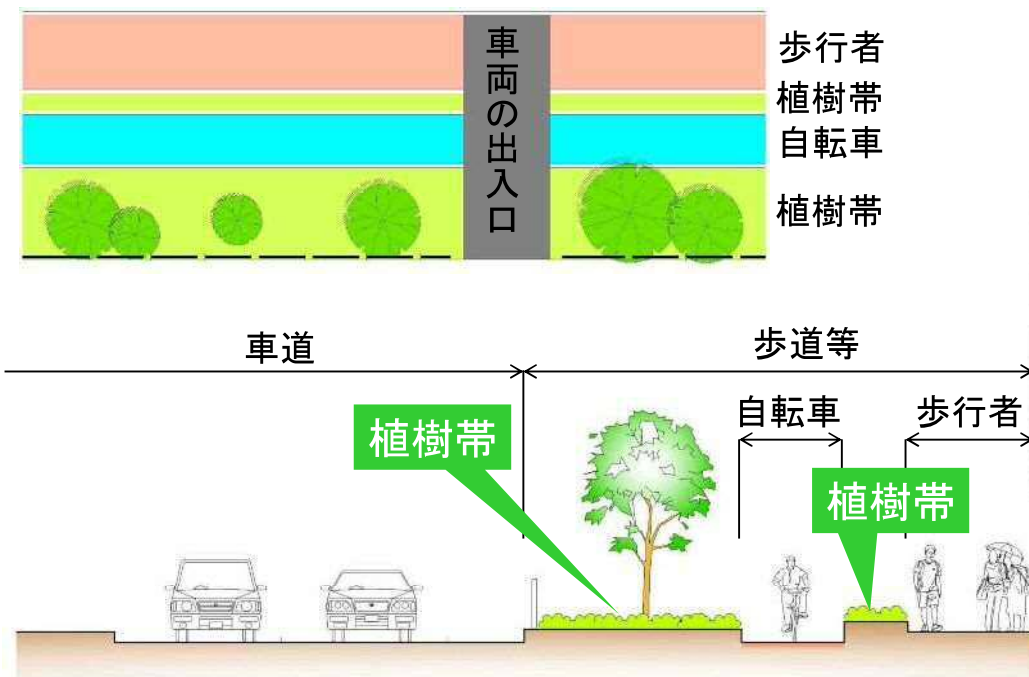
- 植樹帯による構造分離
- 舗装色による視覚分離
- 車道側自転車分離

副道タイプ

24

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

## ■緑地タイプ (植樹帯による構造分離)



25

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

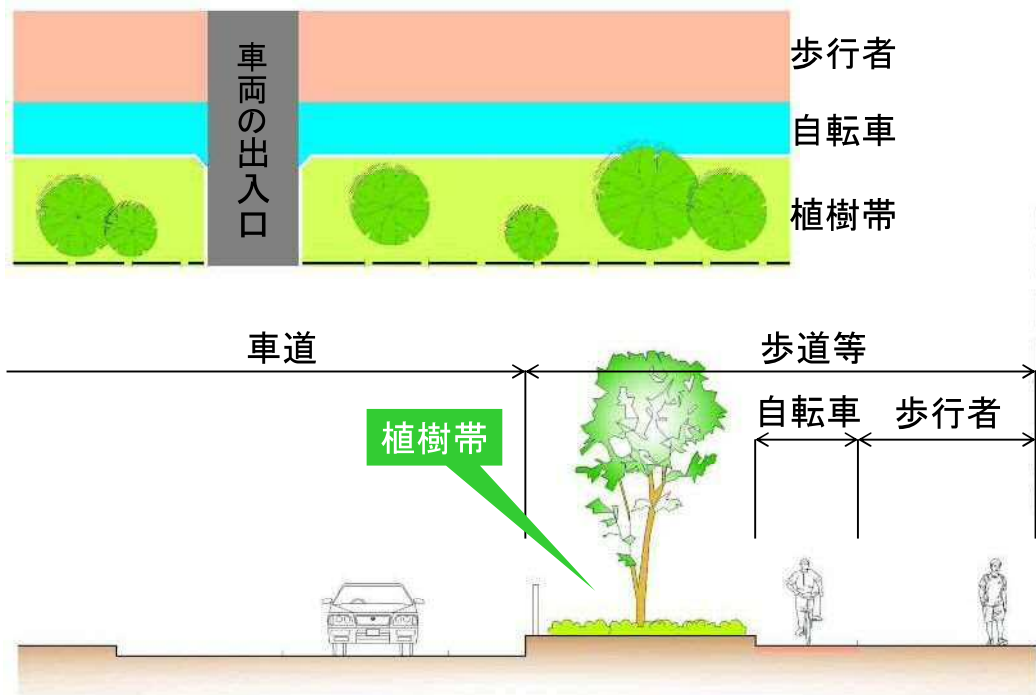
## ■緑地タイプ (植樹帯による構造分離)



26

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

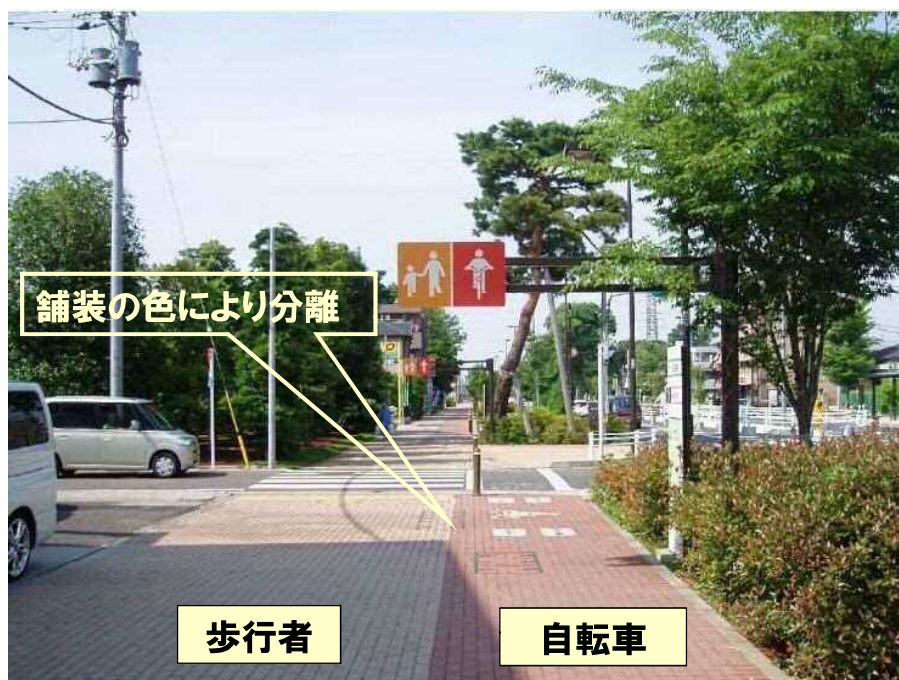
## ■緑地タイプ (舗装色による視覚分離)



27

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

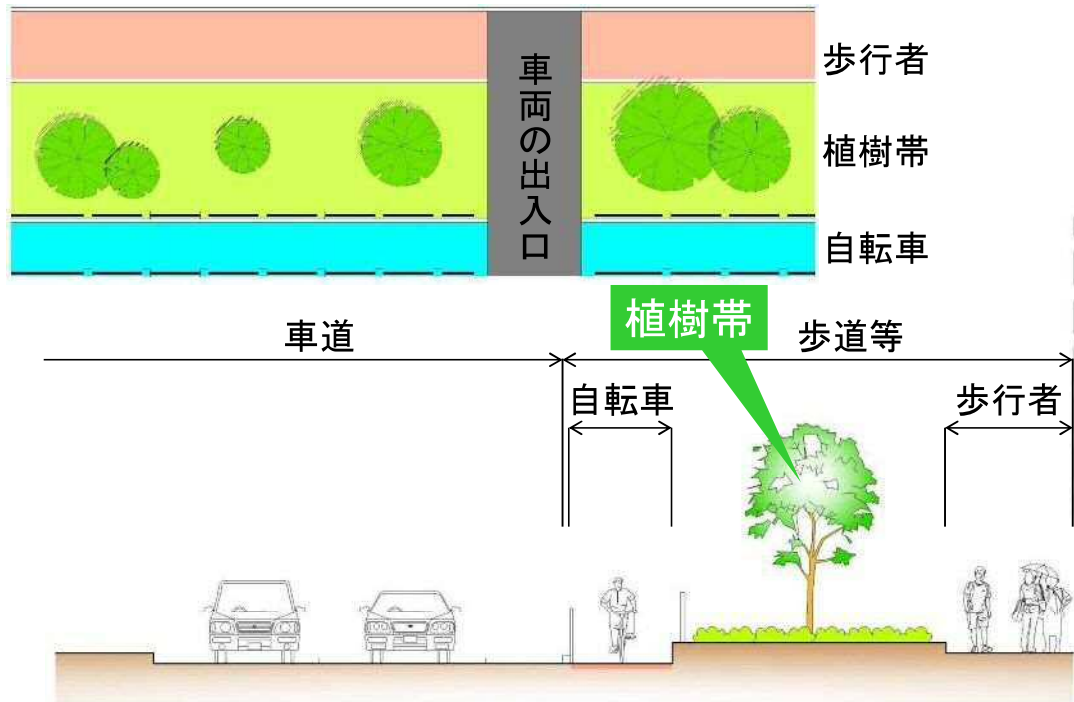
## ■緑地タイプ (舗装色による視覚分離)



28

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

## ■緑地タイプ(車道側自転車分離)



29

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

## ■緑地タイプ(車道側自転車分離)

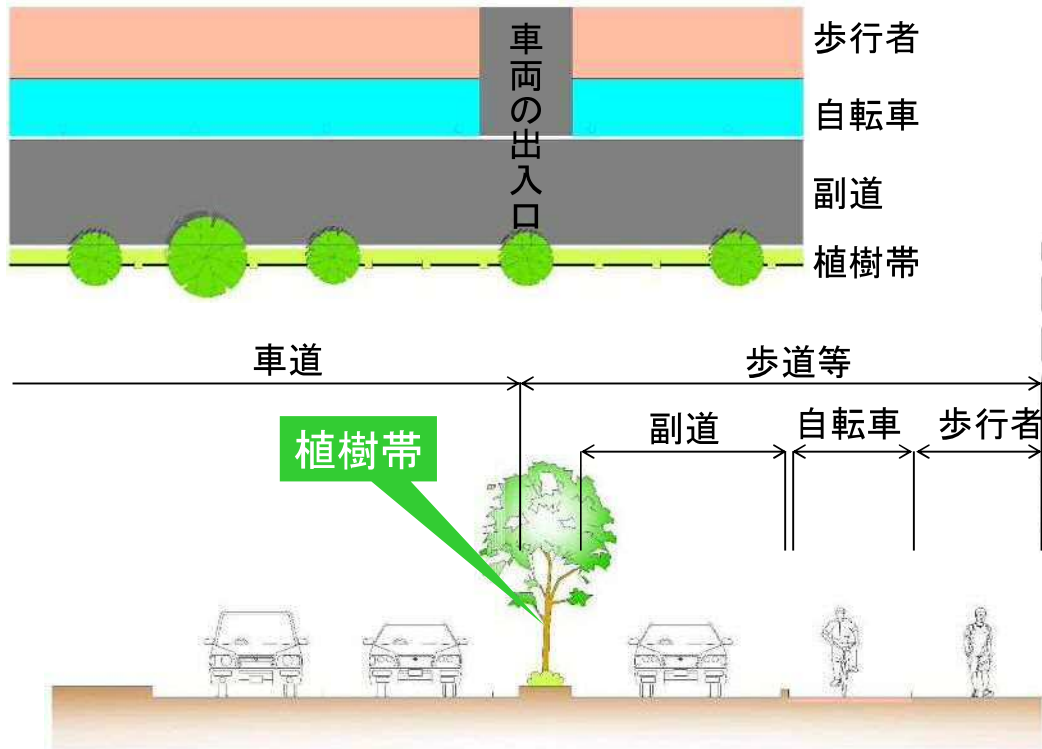


30



# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

## ■副道タイプ



31

# 歩道等(環境施設帯)整備の事例紹介

## ■副道タイプ



32

## 6.環境施設帯のタイプについての 検討作業・意見交換

33

### 検討作業・意見交換について

1. テーブル上にある資料で確認していただき、**ご希望の歩道等のタイプ**について、検討をお願いいたします。
2. 次に、お近くの皆さんと歩道等のタイプについて、意見交換してください。
3. 最後に手元にある意見記入用紙にご意見・要望などを記載してください。

※「環境施設帯」について、疑問点がある場合には順番に対応いたします。

34



## 7.第1回アンケートについて

35



### アンケート調査の目的

沿道住民の方々のご意見を確認することを目的とし、以下の2項目についてご要望をお伺いします。

①歩道等(環境施設帯)のタイプ

②車両の出入口(切下げ)の  
設置希望

36



## 7.今後のスケジュール

37



### ～今後のスケジュール～

- 第1回 歩道等(環境施設帯)の整備タイプの検討・意見交換  
その他の要望等について
- 第2回 歩道整備内容の検討・意見交換  
(整備形態、街路樹等の選定)
- 第3回 平面図の提示・歩道整備内容の検討
- 第4回 最終案の確認およびまとめ  
次回(第2回)のブロック検討会は、  
平成29年9月に開催いたします。

38



## お問い合わせ先

本日のご説明内容などを含め、本道路事業について  
ご不明な点がございましたら、下記まで問合せください。

● **東京都第四建設事務所**

**工事第一課**

**電話:03-5978-1730**

**FAX:03-3947-1419**

**E-mail:S0200200@section.metro.tokyo.jp**

## 放射第 35・36 号線 歩道の整備等に関する検討会（第 1 回）

### ◆歩道等についての主なご意見

- ・この周辺は住宅地域なので、安全性や景観性を優先すべきである。歩道は緑地タイプの方がいい。
- ・副道タイプだと、副道の入口と出口の間では乗り入れが出来ないため、逆に不便になる場合もある。特に沿道にお店があるわけでもないのに、緑地タイプの方がいい。
- ・副道があった方が出入りしやすいと思うが、違法駐車などが心配である。
- ・歩行者と自転車は、構造的に分離されていた方がいい。色分けだけでは、結局、自由に走られてしまう。最近歩行者と自転車の事故も増えているので、安全の観点からも、植樹などで分離すべきである。
- ・緑地タイプで自転車の安全性も確保してほしい。
- ・児童の登下校の安全と利便性を十分に検討してほしい。
- ・氷川台駅にコミュニティバスの停まる場所を作ってほしい。
- ・氷川台駅前に駐輪場を確保してほしい。
- ・環境を考えて緑の多い提案がいい。また、樹木の種類を検討してほしい。
- ・人、子ども、弱者にやさしい安全な道路をつくってほしい。

※その他、本路線に関するご質問やご要望を多数頂きました。